

## 令和6年度 特別委員会 活動方針

委員長 羌 叡應  
副委員長 西村 寧  
後藤 友樹  
世古 丈人

### 1. ムック発行協力事業（担当：総務委員会）

全附連盟とともに、日本の公教育を支える国立大学附属学校における教育のあり方や取組み事例を広く伝えるムック「教育シリーズ」の第3弾の発行に協力し、書籍の普及に努める。特別委員会では、総務委員会が担当委員会として本事業を補助する。

なお、これまで発行されたムックは次の通りである。

- ①「国立大学附属学校のすべて」2017年10月20日発行、東方通信社
- ②「国立大学附属学校の先進教育」2018年11月1日発行、東方通信社

### 2. いじめ防止対策事業の実施（担当：財務委員会）

継続事業として、いじめ防止の対策を図る事業を実施する。特別委員会では財務委員会が担当し、本年度も昨年に引き続き、教材用の動画を収録しライブラリー化を行い、各地区会などでセミナーを開催し、動画利用を促すことで事業の普及を図る。

### 3. 幼稚園特別支援活動調査事業の実施（担当：幼稚園特別支援委員会）

附属幼稚園や保護者の障がいへの理解促進を図り、幼児期の障がい理解教育の基盤とするため、特に関心の高い発達障がいの傾向に対する行動観察について、調査や視察を行い最新情報を収集する。収集した情報は、附属だよりや幼稚園特別委員会の一般事業である保護者交流会で共有する。また、各種活動助成事業を利用した附属学校における子どもたちの障がい理解教育を推進する新たな単位PTA活動を促し支援する。

特別委員会では、幼稚園特別支援委員会が担当委員会として本事業を補助する。

### 4. 日本教育新聞社「全附P連特集」への協力（担当：総務委員会）

令和6年4月から令和7年3月まで月1回（計12回）、日本教育新聞に「全附P連特集」を掲載しており、その連載にあたり情報提供などの協力を行う。

現在、第2回まで掲載されており、7月掲載の第4回までの取材が終了している。本年度は、第5回以降の内容を前年度作成の掲載案を踏まえつつ、最新の情報と照らし合わせ、情報提供を図る。

### 5. その他

- 1) 各委員会の連携を強化し情報共有を行い、横断的な委員会運営を図る。
- 2) 附属学校の魅力や存在意義を発信する戦略的周知活動に関わる事業を遂行する。
- 3) 関連団体や地区会などの主催行事に参加し、活動の周知を行い情報を共有する。

## 令和6年度 総務委員会 活動方針

副会長 宮本 昌尚  
専務理事 田城 敏史  
委員長 西村 寧

### 1. 総会、理事会など諸会議の設営

組織全体の動きを把握しながら、理事会や各事業が円滑に運営できるように努める。

諸会議が、有意義かつ効率的な議論の場となるよう凡事徹底して準備、運営を行う。

インターネットを活用したオンライン会議の経験を活かし、ハイブリッド形式などの会議運営を今後も積極的に活用し、さらに新しい会議の形を模索していく。議事録作成のために本年度よりAIを活用する。

### 2. 地区間交流助成事業の実施

本年度も引き続き地区間交流助成事業を実施する。多くの学校園にさらに積極的に活用していただけるように事業の拡大と活動事例等の広報活動を行っていく。

### 3. PTA表彰

他の学校の模範かつ先進的で優れた活動を行った団体を表彰する。多くの応募をいただけるように工夫をし、広報していく。

### 4. 対外組織との連携を図る

文部科学省をはじめとする関係省庁、関係団体との連携をより強固なものにし、積極的に連携、交流を図れるように、連絡調整に努める。また、「全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会」とも連携し、定期的に意見交換をする機会を準備する。

### 5. 全附P連内部規定・諸規則の見直し

(一社)全国国立大学附属学校PTA連合会の内部規定・諸規則が、物価上昇などの社会情勢や法人に関わる現在の法律などと齟齬がないか確認し、必要があれば改定を提案していく。

### 6. その他

特別委員会におけるムック発行協力事業へ参画する。

運営企画会議、PTA研修会第15回全国大会へ参画する。

## 令和6年度 財務委員会 活動方針

副 会 長 森川 誠  
専 務 理 事 田城 敏史  
委 員 長 後藤 友樹

### 1. 会計業務全般

事務局と連携して、定期的に現金および預金の残高および現金出納帳と預金通帳の収支の確認を行う。また、予算の執行状況について確認をするとともに、理事会においてその執行状況と今後の決算の見込みについて報告し、事業予算の適正執行にむけて、事業の推移を適宜確認する。また、印刷費など物価の高騰により単価が上がる可能性があり慎重に予算計上する。今年度は特別委員会の予算計上があり推移を注視する。

### 2. カンガルー保険関係業務

カンガルー保険を広く普及させるための啓発活動を行う。また、G I G Aスクール構想に伴い支給されているパソコンやタブレット端末の破損に対する保険についての見直し、学校管理下でない放課後活動（クラブ活動など）時における補償の検討など時代に即した保険となるよう、保険会社と協力しさらなる内容の充実を目指す。

### 3. G I G Aスクール、働き方改革に関する調査

G I G Aスクール構想による取組の現状調査及び構築。  
働き方改革による教員の現状調査を行う。

### 4. 財政教育プログラム関係業務（財務省とも連携）

財務省と連携し、財政教育プログラムのさらなる普及推進活動を行う。

### 5. 金融経済教育プログラム関係業務（金融庁との連携）

金融庁と連携し、金融経済教室プログラムの内容の充実およびさらなる普及活動を推進する。

### 6. その他

特別委員会でのいじめ防止対策活動事業へ参画する。  
運営企画会議、P T A研修会第15回全国大会へ参画する。

令和6年6月20日

## 令和6年度 広報委員会 活動方針

副会長 齋藤 伸  
副会長 宮本 昌尚  
委員長 世古 丈人

### 1. 広報活動全般（情報収集、情報発信、取材対応）

全附P連における広報活動全般として、従来の委員会活動に加え、今後の附属学校園の在り方を考える上で重要となる「不断の改革と周知」について、他の委員会と共に多様な媒体を用い、全国の附属学校園及び全附P連の各種情報を収集し発信する。

またその発信方法として、積極的に紙書類の電子化を導入し、SDGsを考慮したエコ活動の推進と併せ、作業の効率化を図る。

### 2. 附属だよりの企画、取材、編集、発行

全附P連の活動方針、組織紹介、各事業報告等、全国の附属学校園及び単位PTAの特色ある試みを広く紹介する。

また附属OB、OG訪問、省庁や連盟等のキーパーソンへのご寄稿依頼に新しい視点をもって取り組み、紙面の改善を常に心掛け、読みやすく、わかりやすい広報誌の作成に努める。

### 3. ホームページの企画・運営

全国の附属学校園及び単位PTAの活動が、地域社会から一層の理解や支援が得られるよう、また全附P連の活動を世界へ向けて発信できるよう、最新情報を速やかに更新し、会員だけでなくより多くの方が興味を持ち閲覧できるホームページの仕組みを検討する。

### 4. 絵画コンクールの実施

本年度は、山形大学附属四校園を主管校とし、「みんなの思い、あつまれ！」をテーマに全国の附属学校園より絵画作品を募集する。

作品の紛失等のリスク軽減や管理及び審査の負担軽減の効果を求め、フォトコンテストシステムを使用した募集や審査を行うと共に、入賞作品の発表を含む事業全般を全附連ホームページやその他の電子ツール、附属だより等で紹介し、次年度開催への啓発を図る。

### 5. 作文・絵作文コンクールの実施

本年度も昨年度同様、教師の職責に対し、理解が深まるよう設けられた「教師の日」に因みテーマは、「先生へのメッセージ」や「先生との思い出」など先生に対しての作文とする。

事業に対する子どもたちの興味や関心を一層高め、数多くの応募につながるよう、審査方法や募集時期、周知方法を再考する。

また入賞作品の発表等、事業全般を全附連ホームページやその他の電子ツール、附属だより等で紹介する等、事業周知に一層努める。

### 6. その他

附属学校園に関連する戦略的広報活動や、世界へ向けて全附P連の活動を発信するSNS及びYouTubeチャンネル等の電子ツールを活用した企画運営を行う。

また特別委員会及び全国大会実行委員会等、他の委員会との横断的な企画参画を図り、一層の広報活動の充実に努める。

## 令和6年度 研修委員会 活動方針

副 会 長 宮本 昌尚

副 会 長 森川 誠

委 員 長 真壁 雄一

### 1. P T A研修会第15回全国大会の企画、運営

P T A研修会全国大会を通じて、直面する教育課題やP T Aの運営などについて討議や意見交換を行う。「子どもたちとこの国の未来のために ～語り合おう、いまわたしたちのできることを～」の大会スローガンのもとに、附属学校での新たな取り組みについてともに考察できるような機会を設ける。今年度は会場がリーガロイヤルホテル東京に変わるが、蓄積された経験、ノウハウを基に、円滑に運営できるよう努める。また、飲食を伴う情報交換会を復活させ、地域・学校を超えた交流を期待する。

要項、配布資料のペーパーレス化を推進し、参加者にも運営スタッフにも快適に参加できる全国大会になるよう努める。

### 2. 全国大会実行委員会の運営

関係者全員で企画、運営する全国大会を実現するため、全国大会実行委員会の運営、計画、準備、活動を行う。

### 3. P T A研修会第16回全国大会の企画

第15回全国大会までの結果を分析し、第16回全国大会が参加者にとってより魅力的な大会となるよう企画、立案を行う。さらに、第18回は75周年記念になるので、ふさわしい会場がどこかを模索しながら、その後の大会運営が円滑になるように準備する。

### 4. 国立大学附属学校全国同窓会との連携、大同窓会運営協力

国立大学附属学校全国同窓会は、附属学校に思いを寄せる人々が時間を共有することで、附属学校の応援の輪を広げていくことを目的に、平成31年3月に設立された。令和5年、3月には第2回、令和6年3月に第三回大同窓会が開催された。

同窓会事務局と連携し、第4回大同窓会の開催に協力する。

### 5. その他

特別委員会の事業へ参画する。

運営企画会議、P T A研修会第15回全国大会へ参画する。

## 令和6年度 幼稚園特別支援委員会 活動方針

副会長 齋藤 伸  
専務理事 田城 敏史  
委員長 羌 叡應

1. 活動助成事業の実施
  - 1) 幼稚園活動助成  
附属学校における幼児教育の推進のため、近年の家庭環境や生活様式の変化により、廃止や縮小の傾向にある幼稚園PTA活動への助成を図る。
  - 2) カンガルーシップ活動助成  
附属学校におけるインクルーシブ教育の推進のため、保護者と教職員が連携し校種を超えた子どもたちの相互理解や共生を育む活動への助成を図る。
2. あいサポート運動の推進
  - 1) 附属学校や地域社会の障がいへの理解向上を図る「あいサポーター研修」を開催する。
  - 2) 附属学校において、園児・児童・生徒や保護者、教職員を対象にモデル授業を実施する。
  - 3) 運動拡大に不可欠な「あいサポートメッセンジャー」（研修講師）の養成を図る。
3. 交流事業の開催
  - 1) 幼稚園保護者交流会  
附属学校の幼児教育について、保護者間や地域の理解向上を図る交流会を開催する。
  - 2) 特別支援保護者交流会  
附属学校の特別支援教育について、保護者間や地域の理解向上を図る交流会を開催する。
4. 視察・調査研究の実施
  - 1) 附属幼稚園・認定こども園  
附属学校の幼児教育の課題や取組み、成果について、視察や調査研究を実施する。
  - 2) 附属特別支援学校・特別支援学級  
附属学校の特別支援教育の課題と取組み、成果について、視察や調査研究を実施する。
  - 3) 就労支援  
附属特別支援学校などの卒業後の課題や取組み、成果について、視察や調査研究を実施する。
  - 4) 視察や調査研究の結果は、報告書として情報公開し、附属学校の公共性の向上に寄与する。
5. 関係団体との連携強化
  - 1) 附属学校の幼児教育や特別支援教育の公益性や公共性を高める団体との連携強化を図る。
  - 2) 附属特別支援教育後の就労を含む希望進路の実現につながる団体との連携強化を図る。
  - 3) 連携強化を図る中で得た有益な情報は、附属学校間だけでなく地域社会と共有する。
6. その他
  - 1) 関連団体や各地区会などの主催行事へ積極的に参加し、活動の周知を行い情報を共有する。
  - 2) 特別委員会が実施するいじめ防止対策活動事業への参画を図る。
  - 3) PTA研修会全国大会への参画を図る（分科会の開催、記念品・販売品で附属特別支援学校や支援学級、関連作業所の制作品を推薦するなど）。
  - 4) 特別広報活動に参画し、附属学校の幼児教育や特別支援教育の戦略的周知活動を展開する。